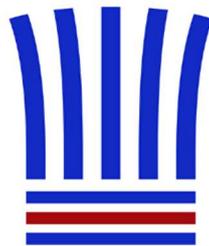


学校関係者評価報告書

2019年度

自2019年4月 1日

至2020年3月31日



ECOLE DE
PÂTISSERIE
DE TOKIO

学校法人 東京綜合食品学園

東京製菓学校

【目次】

1. 目的
2. 2019年度学校関係者評価委員会開催概要
3. 学校関係者評価委員による自己点検評価へのご意見・ご要望など

1. 目的

学校関係者評価委員会（以下、当委員会）は、東京製菓学校学校評価実施規程に基づき、東京製菓学校（以下、本校）の自己点検・評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者から専門的な助言を得るため、外部評価を実施する機関として当委員会を組織した。当委員会は、本校の自己点検評価を資料として、自己点検評価委員会の内部評価を参考にし、さらに関係教職員との具体的な意見交換等を通して、本校の学校運営・教育活動について検証・評価及び助言を行うことを目的として実施している。当委員会の委員は本校の教育理念を理解し、人材育成等に精通した学外の関係者の中から校長が選考し、委嘱している。

本報告書は、2019年度の自己点検評価報告書を資料として、当委員会としての評価・助言を取りまとめ作成した。

2. 2019年度学校関係者評価委員会開催概要

第1回

① 開催日時

2020年5月12日(火) PM 1:00~PM3:00

② 場所

東京製菓学校 小講堂

③ 出席者（敬称略）

<学校関係者評価委員>

梶山 浩司 <学校法人東京製菓学校/学校長> ※委員長

藪 光生 <全国和菓子協会/専務理事> ※副委員長

持田 謙二 <(社)日本洋菓子協会連合会/事務局長>

松野 泰一 <杉並区立天沼小学校/学校長>

浅見 欣則 <Pâtisserie Yoshinori ASAMI/オーナーシェフ> ※卒業生

鴨志田 遼平 <カモベーカリー/オーナーシェフ> ※卒業生

<必要に応じ、召集された者>

林 知子 <学校法人東京製菓学校/総務部部长>
小林 紀夫 <学校法人東京製菓学校/教育部部长>
益田一垂輝 <学校法人東京製菓学校/教育部次長>
関口 高広 <学校法人東京製菓学校/会計課課長>

第2回

① 開催日時/概要

2020年6月1日(月)~6月5日(金)

委員召集の都合がつかないため、また、報告内容に大幅な変更・修正がないため、郵送手配にて行い、意見・要望を取りまとめた。

②出席者(敬称略)

<学校関係者評価委員>

梶山 浩司 <学校法人東京製菓学校/学校長> ※**委員長**
藪 光生 <全国和菓子協会/専務理事> ※**副委員長**
持田 謙二 <(社)日本洋菓子協会連合会/事務局長>
松野 泰一 <杉並区立天沼小学校/学校長>
浅見 欣則 <Pâtisserie Yoshinori ASAMI/オーナーシェフ> ※卒業生
鴨志田 遼平 <カモベーカリー/オーナーシェフ> ※卒業生

3. 学校関係者評価委員による自己点検評価へのご意見・ご要望など

(0) 各課各係の方針と目標

【現状の課題点】

各課・各係が設定した基本方針と目標は十分に達成しているという状況である。今後は更なる充実を目指す。また、不測の事態にも早急に対応できるようリスクマネジメントを整えておく。

【学校関係者評価委員からのご意見・ご要望】

① 特になし。

(1) 教育理念

【現状の課題点】

充実した施設設備やカリキュラム等、教育環境は整備されており、「菓子是人なり」という基本理念や目的、育成人材像も教職員、学生およびその保護者に周知されている。

【学校関係者評価委員からのご意見・ご要望】

① 問題なし。

(2) 学校運営

【現状の課題点】

コンプライアンス体制において、教職員の理解が足りていない部分が見受けられるが、そのほかについては基本的に問題ない。今後はその理解力を高め、周知徹底を図る。

【学校関係者評価委員からのご意見・ご要望】

- ① コンプライアンス体制において、どの程度教職員の理解が足りていないのか、その度合いと理解不足の理由、また、その改善方法を具体的に示していただきたい。

【当学園からの応答】

教職員への聴き取り調査によりコンプライアンス不足の把握をしています。抽出での聴き取りのため、理解不足の度合いは正確には算出できていませんが、「コンプライアンスの意味」をあまり理解できていない者もいました。ひとつの改善策として、社内回覧システムなどを利用してコンプライアンスの意義を説き、高い目的意識を持たせ、業務に臨ませることを考えています。

- ②教育活動等に関する情報公開は適切になされていると思われるが、確認したい。

【当学園からの応答】

ご指摘の通り、基本的な教育活動に関する情報公開は適切にできておりました。評価は「ほぼ適切：3」となっておりましたが、今後は「適切：4」に改めさせて頂くと同時に今後もこの評価を継続できるように邁進します。

(3) 教育活動

【現状の課題点】

基本理念にそった教育活動が実施されており、総授業時間数における実習時間数8割以上の実施も達成できている。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

- ①職員の能力開発のためにどのような研修をどの程度行っているのか、具体的な記述があるべきではないかと思う。また、具体的な内容を教えていただきたい。

【当学園からの応答】

進化する製菓・製パン技術に対応し、学生に対し常に新しい技術を教育出来るよう、不定期ながら外部の技術講習を各教員が受講しており、その数は年間約40回に及んでいます。また、カウンセリング研修や経営サポートセミナーなど職員の能力開発のための講習も受講し、年間30回ほど出席しています。他には専修学校団体が主催する教員研修に一定期間教員を参加させ、教員の資質向上にも努力をしています。

(4) 学習成果

【現状の課題点】

(就職希望者の)就職率は100%をキープできている。また、退学者の割合もかなり低い水準を保っている。資格取得に関しては、更なる意欲向上、意欲増進を図る。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

- ①特に問題なし。

(5) 学生支援

【現状の課題点】

学生支援体制に大きな問題はない。ニーズに合わせた柔軟な対応がとれており、環境は整備されている。また、高校等へ積極的に出張授業・出張講習に出かけており、職業教育への貢献も欠かしていない。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

①特に問題なし。

(6) 教育環境

【現状の課題点】

施設・設備はもちろん、防災上も法令点検を受けており、問題はない。インターンシップについても整備できているが、更なる拡充を目指す。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

①特に問題なし。

(7) 学生の募集と受け入れ

【現状の課題点】

適正・適切に行われており、問題はない。学納金の妥当性についても同様である。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

- ① 特に問題なし。

(8) 財務

【現状の課題点】

財務状況は好調であり、問題はない。財務情報公開の体制整備も出来ているが、学園のホームページ上での公開が出来ていないので、2020年度中に対処する。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

- ①財務状況が安定しており、健全な状況であると評価する。

【当学園からの応答】

ありがとうございます。安定した経営を続けられるよう邁進します。

(9) 法令等の遵守

【現状の課題点】

法令に則り、適正な運営を実施している。ただし、自己評価結果自体は実施しているものの未公開である。2020年度中に学校関係者評価報告書も含め、学園のホームページ上で公開する。

【学校関係者評価委員からのご意見・ご要望】

① 自己評価の実施において、改善を要する点があるとの記述があるが、どのような点を改善するのか、わかりにくい。例えば、自己評価のやり方についての改善なのか、評価で出た課題についての改善なのか、具体的な報告をしていただきたい。

【当学園からの応答】

ご指摘ありがとうございます。今回の記述が示している問題点は自己評価の実施方法についてのことです。自己評価や報告書の作成は実施しておりましたが、一般公開はおろか教職員への公開も出来ておらず、作成者や携わる委員の自己満足で完結しておりました。

まず、担当者の再教育や委員会の組閣見直し、自己点検評価の意義の周知徹底、一般公開できる体制づくりを整え、2020年度中の適正化を目指します。

(10) 社会貢献

【現状の課題点】

社会貢献・地域貢献を継続して行っており、ボランティア活動の支援等も行っている。

【学校関係者評価委員からのご意見・ご要望】

①特に問題なし。

(11) 国際交流

【現状の課題点】

当学園に対する諸外国／留学生からの評価は高く、今後も積極的・戦略的に留学生の受け入れを続けていく。ただし、留学生と国内学生とのバランスに留意する。

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

- ①新型コロナウイルスの影響で、学生募集に関して苦労すると思われるが、運営に支障の出ないように頑張してほしい。

【当学園からの応答】

ありがとうございます。学園としてベストを尽くします。

(12) 全般

【学校関係者評価委員会からのご意見・ご要望】

- ①2018年度に評価1であったものが、2019年度で評価4になっており、評価の方法に疑問符がつく面もある。ただし、内容的には改善されていると感じている。これからは、評価方法に一貫性や内容の改善に妥当性を持たせてほしい。

【当学園からの応答】

ご指摘ありがとうございます。委員会として未熟な点があったことが否定できません。委員会および委員の質を向上させるとともに、内容に納得できる報告書の作成と評価の基準を定め、妥当性を持たせます。

【まとめ】

これらの課題に対し、学校関係者評価委員から頂いたご意見・ご要望を真摯に受け止め、教職員一丸となり課題を解決し、業界を牽引する人材の育成・輩出に取り組んでいく所存である。

本報告書に関するお問い合わせは下記まで。



東京都新宿区高田馬場1-14-1
学校法人 東京製菓学校

学校関係者評価委員会

☎ 03 (3200) 7171

✉ info@tokyoseika.ac.jp